



JA NEWS 2022 NO.641

表紙写真は、不動産事務所管内の佐藤健一さん（48）。8月23日から稲刈り作業をスタートしました。今年は梅雨時期に降雨がほとんどなく、7月～8月の日照が十分だったことから例年より4～5日早い収穫でした。今年度から、JAで購入した新車のコンバインを導入。2条刈りから3条刈りにグレードアップしたことから、約1.5倍のスปีドで刈り取ることができ、作業効率も上がりました。

佐藤さんは、コシヒカリ1.1畝の他、プロッコリー1.5畝、いちご15坪を栽培しており、プロッコリー

の収穫と、いちごの二番花の収穫のピークが重なる2月末～ひな祭りまでの時期は、非常に忙しくなるそうです。「何より健康第一。三食しっかり食べることが健康の秘訣。新米になると、格段に米の香りが高いので楽しめた。」と笑顔で話す佐藤さん。妻・陽子さんの手料理は全てメニューが美味しく、いつも感謝しているそうです。

毎年、プロッコリーの定植がひと段落する10月中旬頃に家族旅行するのが恒例でしたが、しばらく行けておらず、来年こそコロナが落ち着いて、家族みんなで東京観光・ドイツ・ニールランドに行ける日が来ることを心待ちにしています。

た。」と笑顔を見せていました。

密を避けるため、ドライブスルー方式で、職員が直接購入いただいた商品を車に運び入れました。2日間で昨年の販売実績の約9割を上げることができ、予約販売は9日まで受け付けました。富農経済部経済課伊藤剛生課長は「管内の厳選された一等米を一人でも多くの方に味わってもらいたい」と話しました。

【写真は⑥本所で受付を行う様子、⑦本所裏駐車場でお客様の車に玄米を運び入れる富農経済部経済課井手係長】



玄米まつり事前PRで大盛況

当JAでは9月2日～3日の2日間、管内9ヶ所で「玄米まつり」を開催しました。当JA担当職員が、1等米のうち食味計で一定値以上の数値が出た選りすぐりのコシヒカリの新米を販売しました。今年も新聞広告やテレビCMなどの告知を強化。四国放送のお昼のニュースにもイベントが報道されました。イベントでは、ハンディー精米機やすだち、また人気商品「すだちぶつかけうどん」や「すだち鯛塩フーメン」も販売され好評でした。開催場所では、多くの消費者が購入に訪れ「コジカルの放送でイベントを知った。新米が食べたくらい買いに来た。」と笑顔を見せていました。



プロッコリー定植作業着々と

8月中旬より、管内ではプロッコリーの定植作業が本格化しています。

北井上事務所プロッコリー部会寺岡誠介部会長は、今年産のプロッコリー定植作業を8月12日より開始しました。品種は「SK91099」「おはよつ」等を順次、定植していく予定です。

今年はお盆時期の天候も比較的良く、定植作業は順調に進んでいます。

寺岡部会長は、「肥料価格高騰を受け、厳しい状況だが、堆肥施用による土壌改良、病虫害防除に重点を置き、秀品率向上に努めています。」と意気込んでいます。定植作業は11月初旬まで続き、初出荷は10月中旬を予定しています。

【写真は定植作業を行う寺岡部会長・撮影は8月23日】

22年産 お米の検査 順調



管内では8月4日から、各集荷場で22年産のお米の検査がスタートしています。三軒屋集荷場では、8月18日に初検査が行われました。

この日は、コシヒカリ約160袋が持ち込まれ、検査員が米の袋に穀刺を入れて米を取り出し、白と黒の二種類のカルトンで米の着色や虫による食害、形状、未熟米の割合を目視で検査し、また水分量が適正かの測定を行いました。

麻植優治検査員は、「8月中の天候が良く、生育が順調で全体的に品質は良好。今後、多くの集荷があることを願う。」と話しました。

【写真はお米の検査を行う麻植 検査員】

トピックス

J A 徳島市の
管内の情報をお届け



農産工場 赤シソ加工順調



農産工場では、赤シソの加工が順調です。生産者が栽培した赤シソの葉を工場に塩蔵しています。管内では40戸の生産者が832㍎を栽培しており、色が濃く、香りが強い品種を栽培しています。今年度は、総集荷量100トンを計画しています。集荷は8月末まで続く予定で、集荷のピークの8月初旬から15日までは1日あたり1.5トンの集荷がありました。8月18日時点で、総集荷量は78トんで前年度の71トンを上回っており、集荷も順調です。

工場では、集荷した赤シソの葉を選別し、洗浄機にかけ、梅酢と塩を混ぜて揉み込み、脱水機にかけます。

武田元成工場長は「選別作業や、異物除去を徹底し、高品質出荷に努めたい。」と話しています。

【写真は、赤シソを洗浄機に
かける従業員】



アグリサポートセンター稲刈り受託作業開始



アグリサポートセンターでは、生産者の稲刈りの受託作業が8月16日より始まりました。年々、受託件数、面積ともに増えつつあり、今年は8月中旬時点で約110件の申込みを受け付けており、昨年度を上回る勢いであり、コンバイン3台態勢で受付順に随時作業を進めています。

受託件数の拡大は、生産者の高齢化や、所有するコンバイン等の農機の老朽化してきている

こと等が背景にあり、110件のうち、約6割は田植えと稲刈りの両作業をセットで受託しています。

同センター桑野広志課長は「作業行程が天候や生育状況により、左右されるが、なるべく組合員の希望に添えるようにスケジュール調整をしていきたい。」と意気込んでいます。作業は10月上旬まで続く予定です。



露地すだち品評会に46点が出品



佐那河内村農業振興協議会は8月25日、佐那河内村で毎年恒例の露地すだちの品評会を開催しました。今年は、露地すだち部会から46点の出品がありました。

徳島県東部農林水産局、全農とくしま、JAの担当者による厳正な審査が行われ、外観が滑らかで緑色が濃く、色、粒ぞろいの良いものが上位に選定されました。上位には、正木久子さんら他、4名の方が選ばれました。

佐那河内村農業振興協議会 加藤秀数会長は、「今年は裏年で大玉傾向。また、長雨の影響から、生産者は苦労が多いと思うが、品質は向上している。」と話されました。

【写真は、出品されたすだちを見る審査員ら】

共同購入トラクターセールスコンクールで石川職員が入賞

7月12日、不動農機サービスセンター 石川善敬 職員は全国農業協同組合連合会が主催する「JAグループ共同購入トラクター（中型）セールスコンクール」に於いて、徳島県の部第2位の成績を収め、表彰を受けました。このコンクールの表彰は、共同購入トラクター「SL33L」の受注販売促進を目的とし、令和2年10月1日から令和4年5月までの期間に対象トラクターの個人別受注件数が多い担当者へ贈られるものです。

表彰を受けた石川職員は、「今後も組合員の皆様に良い製品を、より良いタイミングでご提案できるように努めたい。」と話しました。



晩生のすだち 新品種「勝浦1号」苗木 令和6年春供給開始

8月24日、佐那河内支所にて「勝浦1号」の産地導入推進検討会が開催され、全農とくしま、JA担当者、高度技術支援課らが参加しました。

今回は、苗木を販売する全農とくしまが、「冷蔵すだち」の後期（2月～3月）出荷用の品種として「勝浦1号」の導入を推進するため、苗木の販売価格、販売開始時期、注文取りまとめにおける注意事項等が協議されました。近年の地球温暖化の影響から、すだちの生育が前進化して、収穫適期が早くなり、9月後半には果皮の緑色の退色が始まります。その果実を長期間貯蔵すると黄変しやすく、品質の低下が問題視されていました。

「勝浦1号」は、果皮の緑色が濃く、退色も遅く、収穫適期が長い晩生品種であり、貯蔵性が優れているため、品質低下で品薄となる2月～3月の「冷蔵すだち」として期待が高まります。全農とくしまでは、今年（9月～10月頃）に当JA、JA名西郡等で苗木注文の取りまとめを行い、令和6年春に供給を開始する予定です。初年度は、年間1,500本を計画しており、当面は主要産地の貯蔵庫を所有し、2月～3月の限定出荷に同意いただける生産者に導入を推進していきます。南部営農経済センター 山本浩史 指導員は、「導入によりすだちの周年供給体制がより一層、強化されることを期待している。」と話しています。



さくらもいちご株冷処理 共同冷蔵庫でスタート



佐那河内もいちご部会は、8月29日より果樹選果場の共同冷蔵庫での株冷処理（暗黒低温処理）を開始し、一部の生産者6戸の830個のコンテナに入ったいちごの苗20,000株が入庫されました。株冷処理（暗黒低温処理）は、いちご苗を低温処理することにより、花芽分化を促進させ、安定出荷を図ることを目的としており、毎年この時期に取り組んでいます。処理後は、花芽検鏡を実施し花芽分化の確認後に定植作業へと移ります。

14℃に保たれた冷蔵庫で管理され、9月中旬に花芽検鏡が実施されます。花芽分化の確認後、共同冷蔵庫から出された苗は、随時定植されます。

栗坂政史部会長は「害虫防除の徹底に尽力し、現段階まで非常に順調。育苗から愛情を注いでいるので、今年も美味しいいちごができると自信がある。」と話されました。

【写真は、苗のコンテナを選果場冷蔵庫に入庫する中川職員】

多家良支所に感謝状 ネットバンク特殊詐欺を未然に防ぐ

多家良支所は9月2日、特殊詐欺被害を未然に防いだとして、徳島中央警察署より署長感謝状が贈られました。支所では8月16日、開店前、高齢男性からの電話で、「JAからの電話で自分の通帳番号、キャッシュカードの暗証番号を聞かれ伝えてしまった。実際、そのような電話での確認はおこなっているのか。」と職員にお申し出がありました。職員は不審に感じ、すぐに通帳とカードの出金停止処理を行いました。また、同時に男性名義の新規ネットバンク口座が開設されていることを発見し、本人に確認すると「開設した覚えがない。」とのことから、早急にネットバンクの緊急停止を行いました。

さらに3日後の19日、開店前に毎日配信される帳票用データ内に、新規のネットバンク登録があり、顧客情報から名義人の女性が高齢だったため、念のために本人確認を行いました。すると、同様に本人

の意思での開設ではないことが発覚し、ネットバンクの緊急停止を行いました。この女性は、18日、市役所職員を名乗る者から、「還付金がある」との虚偽の電話を受け、口座番号とキャッシュカードの暗証番号を聞き出されていました。2件は共通して「翌日の13時に再度、電話があるので出てほしい。」との案内もあったとのことでした。不正出金の被害は事前に食い止めることができたが、管内では還付金詐欺の警告文書を店舗に掲示し、疑わしい新規口座や大きな出金等がないかどうかを引き続き、慎重に確認していきます。

鎌田耕一支所長は、「JAに預けていただいた貯金を職員の連携で特殊詐欺被害から未然に防ぐことができたので、今後も強化していきたい。」と述べました。

【写真は、①感謝状を受けた多家良支所職員一同、②徳島中央警察署での授与式で高橋俊雄署長（右）より表彰状を受け取る鎌田支所長（左）】



還付金詐欺に

ご注意ください。



還付金を受け取るために、市役所等の職員、警察官、金融機関職員、JA職員等が電話で口座番号、キャッシュカードの暗証番号等を聞き出したりすることは絶対にありません！！



お客様の重要情報を聞き出そうとする電話には一切答えずに、きっぱりと電話をお切りください。

仮にお客様の重要情報を伝えてしまった場合は、速やかにJAへご相談ください。

農薬在庫処分セール開催について

日頃は、当JA購買事業に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

標記の件につきまして、**期限切れ間近の農薬を10%~20%割引**し、販売を行いますので是非この機会に安価な商品をお買い求め下さい。

割引対象商品は各ミニ資材店舗にて掲示しておりますので、興味のあるお客様はご来店下さい。

尚、在庫処分セールについては**売り切れ次第終了**とさせていただきますので予めご了承下さい。

割引対象商品 (一部抜粋)

- 20%OFF ・ダントツ粒剤 3kg ・ ・ ・ 水稲・園芸野菜に幅広く使用できる殺虫剤です
- 20%OFF ・ファインセーブフロアブル 500cc ・ ・ ・ いちご・ねぎなどに使用できる殺虫剤です
- 20%OFF ・ロックス水和剤 100g ・ ・ ・ にんじん・えだまめなどに使用できる除草剤です
- 10%OFF ・ラリー水和剤 100g ・ ・ ・ いちご・きゅうりなどのうどんこ病・さび病に効果のある殺菌剤です

健康 百科

「新型コロナウイルス 最近の知見について」

徳島往診クリニック 吉田大介

みなさん、こんにちは。徳島往診クリニックの吉田です。

8月に入り新型コロナ患者の数が急激に増え、徳島県では8月24日にピークの3,182人の感染者が確認されました。そんな中4回目のコロナワクチンも施行されているところです。今回は最近の知見についてお話ししたいと思います。

- 4回目摂取の対象者は①60歳以上の人②18~59歳で基礎疾患を有する人・その他重症化リスクが高いと医師が認める人とされていて、3回目摂取から5ヶ月以上経過した人に接種券が発行されています。使用するワクチンは、1~3回目使用したワクチンに関わらずファイザー社かモデルナ社のいずれかが使われます。気になる4回目接種の効果ですが、厚生労働省のHPでは、感染予防効果は短期間しか持続しなかったという報告がある一方、重症化予防効果は6週間経過しても低下せず維持されていたことや、死亡予防効果を示唆する報告があります。これまでの統計では、第7波の重傷者数は第5波・第6波より少なくなっていますが、死亡者数は逆に増えているという現象が観られています。これは第7波で亡くなっている方の多くが高齢者や基礎疾患を有する方々となっているためです。第5波までは、コロナウイルスによる重症肺炎を合併して亡くなる方が多かったのですが、今は逆にそういったケースが減っているとのことです。

- ノババックス社が開発した新型コロナワクチンが、武田薬品により申請され、5月25日から使用可能となっています。しかしながら、今回の4回目接種には使用できません。このワクチンは従来からある「不活化ワクチン」の一種で、このワクチンを開発する技術はこれまで世界中で既に広く使われてきた実績のあ

るものです。初回免疫のための接種方法については12歳以上の人が対象で、1回目と2回目の接種間隔を3週間以上あけて接種します。3回目の追加接種は、18歳以上が対象で6ヶ月以上あけて行います。有効性については、mRNA ワクチンであるファイザー社・モデルナ社と同様に新型コロナウイルス感染症に効果があると期待されています。

- 政府は新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」に対応した新たなワクチンについて、接種開始を9月中とする方向で調整に入りました。従来のワクチンを2回以上接種した18歳以上であれば基礎疾患の有無に関係なく接種可能で、無料で受けられる「臨時接種」とする方針です。

新ワクチンは現在主流の「BA.5」にも一定の効果があると期待されていて、ファイザー・モデルナ両社は8月下旬に米食品医薬品局（FDA）に対し従来株と「BA.5」に対応した2価ワクチンの緊急使用許可を申請しています。日本政府は、同ワクチンが承認され次第9月中に輸入を開始する予定です。

- 第7波はオミクロン株「BA.5」が主流ですが、それとは別に、また新たな変異ウイルスが国内で確認されています。それは第6波の主流だったオミクロン株「BA.2」がさらに変異した「BA.2.75」というもので、別名「ケンタウロス」と呼ばれています。新たな変異ウイルスは、BA.2系統から変異した75番目の亜種であることから、BA.2.75と命名されました。BA.2.75は、変異の割合が大きいためこれまでのBA.2系統と特徴が大きく異なりますが、BA.5に似た部分があるため、ギリシア神話の半身半獣のケンタウロスの異名を持つことになりました。BA.5による第7波はピークアウトし、今後はBA.2.75による第8波が到来するものと懸念されます。

理事会だより (令和4年8月30日)

- | | |
|----------------------------|-------------------------------------|
| 協議事項 | (2) 債権回収について |
| (1) 令和4年度事業第2期施設整備工事計画について | (3) JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について |
| (2) 北部営農経済センター 舗装改修工事について | (4) 令和4年度みのり監査法人による期中監査①の実施について |
| (3) 出資口数の一部減口について | (5) 農産物検査業務規程 別紙の一部変更について |
| (4) 3億円超の信用の供与について | (6) 事務リスク管理規程 別紙の一部変更について |
| (5) その他 | (7) 理事会決議事項処理状況報告について |
| 報告事項 | (8) その他 |
| (1) 旧大原事務所の売却について | |

お詫びと訂正

本誌 2022年9月号の1ページ表紙写真の説明文におきまして、文中の一部に誤りがありましたので、下記の通り訂正いたします。

関係各位には、ご迷惑をお掛けしましたことを心よりお詫び申し上げます。

【本文13行目】 (誤) 80² (正) 800²

島田清弁護士無料法律相談

通常通り開催いたしますが新型コロナウイルスの感染状況によりましては開催できない場合がございます。

- 日時 第3土曜日 9:00~12:00
- 金融共済部へ事前に予約が必要
- 申込先 ☎ 088-622-8003
- 場所 本所1階金融相談室

質上延啓税理士事務所の無料税務相談

下記の通り開催予定ですが、新型コロナウイルスの感染状況によりましては、開催できない場合がございます。

- 日時 10月11日(火)、18日(火)、25日(火) 9:30~15:00
- 申込先 総務部へ事前に予約が必要
- ☎ 088-622-6335
- 場所 本所1階金融相談室